

SIMCO通信

平成29年11月15日第80号 発行(担当 営業グループ 渡辺 山口)

暑い夏が終わったと思ったら、あっという間に冬がやってきました。秋の少しホツとする季節が年々短くなっているような気がします。朝の気温が一桁の日もあり、東北では初雪も観測されています。今年も残すところあとふた月弱。怪我や事故無く年末年始を迎えられるように、気を引き締めていきましょう。

表面担当 営業グループ 渡辺

2017.11.4 環境整備大会

11/4に今期2回目の環境整備大会が実施されました。各グループリーダーの指示のもと、日頃業務に追われてなかなか手につかない様々な改善が行われました。一部をご紹介します。

右の写真は弊社広場にある荷下ろし場の改善になります。各配送業者様からわかりづらいとのご指摘を頂き、見た目で見分けるように明示と看板の設置を行いました。

今後も安全第一に荷受け業務をお願いします。



左は日々お客様に製品を運んでいる大型トラックの写真です。荷台の中心線やあおりなどの塗装を定期的に行い、安全に長くトラックを使えるようにメンテナンスを実施しています。



右の写真は高周波焼入れ機の上に設置した安全柵です。メンテナンスや工事で上部に登る機会があり、転落の危険性が高い状況でした。この改善により安心してメンテナンスを行うことが出来るようになりました。



改善誌 QCサークル

改善誌の「QCサークル 2017.11号」に弊社客先のエンドユーザーの一社である、日立建機株式会社 平野 代表執行役 執行役社長様の記事が掲載されておりましたのでご紹介します。

工場生産部門での小集団活動が中心であったQC活動ですが、今後は間接部門領域でも同様の考え方や手法を取り入れる必要性が書かれています。弊社ではまだまだQC活動が進んでおりませんが、お客様の様々な事例をうまく活用させていただき、日々の改善につなげていきたいと思っております。



今月の行事～ふいご祭り

ふいご祭りとは？《鞆》

旧暦11月8日の行事で鍛冶・鋳物師・たたら師・白銀屋など、ふいごを使う職人のあいだで行われ、さらに風呂屋・のり屋・石屋など、広く火を焚く職人のあいだにも普及していました。この日は天からふいごが降ってきた日だといひ、業者はふいごにいろいろなもの、とくにミカンを供えて、これを集まって来る子どもたちに振る舞う風習があったようで、京都を中心に盛んになり、のち江戸に移り、やがて全国的に広まったそうです。ちなみに、ふいごとは、金属を精錬するために、炉で金属を溶かしますが、炉の温度を上げるために風を送らなければいけません。ふいごとは炉に風を送る道具のことで、動物の皮や木の板で作った足踏み式のものが主流でした。

弊社ではミカンの他に乾物や野菜、果物などをお供えて、仕事の繁盛や安全を祈願し、擬人的ですが火の神様に感謝する行事として、毎年行っています。

終了後は、社内懇親会で日頃の疲れをお酒で流しつつ(笑)

次の一年間も社員全員、感謝の気持ちで仕事に邁進していきたいと願っています。



今月の一冊～ 仕掛学

今月紹介させていただく本は、松村真宏さん著【仕掛学】です。

仕掛学と聞いてあまり耳なじみのない学問と感じられたと思いますが、内容はいたってシンプルです。

押してダメなら引いてみな。一言で言うとこれが仕掛けの極意で、人に動いてほしいときは無理やり動かそうとするのではなく、自ら進んで動きたくなるような仕掛けをつくれればよいとのこと。

その仕掛けを定義する3つの要件があるそうで 公平性(誰も不利益を被らない)誘引性(行動が誘われる)目的の二重性(仕掛ける側と仕掛けられる側の目的が異なる)となっています。

よく会社などに『整理整頓』と書かれた標語が貼ってあり、実際2、3日は意識しますがそれ以降はあまり意識しなくなっていないでしょうか？標語に誘引性はないです。そういったことに対して人を動かすアイデアが書かれた本となっています。一つここに書かれた例を挙げると 男性ならわかると思いますが、便器の中に的をつけるとつい狙いたくなり、そして飛散が減り掃除の費用も抑えられたという空港がある事例などもあります。是非、皆さんも簡単な仕掛けを使った改善などを職場でやってみてはいかがでしょうか。



○編集後記○

日々、寒さが増し冬を感じる今日この頃ですが、皆さんはどんな暖房器具をお使いでしょうか？最近ではエアコンなどが主流になってきておりますが、小さなブームで一人用のコタツなども流行ってきているみたいです。一人暮らしや自分の部屋で『ぼっち』な時間を満喫するのも良いのかも知れませんね。

裏面担当 営業グループ 山口